

令和 7 年度（2025 年度）

わかりやすい決算書

主要施策の成果報告書



宮若市



ごあいさつ

市民の皆様には、ご健勝にて、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

宮若市では、市民参加による協働のまちづくりを推進するため、市民の皆様によりまちづくりに関する情報を積極的にお知らせすることで、情報の共有に努めております。そのひとつとして、このたび、令和7年度の決算概要をまとめた「わかりやすい決算書～主要施策の成果報告書～」を作成いたしました。

このわかりやすい決算書では「第2次宮若市総合計画後期基本計画」に掲げる5つの重点的な取り組みテーマを中心として構成し、どのような事業にどのくらいのお金を使ったのかを紹介しています。

令和7年度においては、定住促進の充実を図るため、県内最高水準となる住宅取得補助金や新婚世帯・子育て世帯新生活支援事業補助金を交付しました。また、物価高騰対策として、国の交付金と輝くふるさと応援寄付金を活用し、全ての市民に対して一人当たり1万円の物価高騰対応応援給付金を支給しました。さらに、給食費の無償化や子ども医療費助成の対象を高校生世代まで拡充するなど子育て世帯への支援を行いました。

また、宮若市は令和8年2月11日に市制施行20周年を迎えました。市制施行20周年の重要な節目として、記念式典の開催や劇団宮若レインボーカンパニーによる20周年記念ミュージカルの公演を行うなど、市民の皆様とともに「ふるさと宮若」の愛着を深める契機となりました。これもひとえに、市民の皆様をはじめ、本市に関わる多くの皆様のお力添えのおかげであると実感しております。心より感謝申し上げます。

この節目を新たな出発点として、「第2次宮若市総合計画後期基本計画」に基づき、誠実かつ着実に施策を進めていくとともにさらなるまちの発展のため、令和8年度から2カ年で「第3次宮若市総合計画」の策定を行い、未来を見据えた新たなまちづくりを進めてまいります。

市民の皆様が誇りに思えるまちづくりに向け邁進してまいりますので、今後とも皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年8月

宮若市長
柴田 裕美子



もくじ

宮若市一般会計決算	2
グラフで見る財政状況	4
令和7年度に取り組んだ2つの重要施策について	6
子育て世代への支援 定住促進と消費活性化	
テーマ1 スポーツ、芸術・文化、健康長寿のまちづくり	8
スポーツ 芸術・文化 健康長寿	
テーマ2 個性的で活力に満ちた、コミュニティのまちづくり	10
個性に満ちたコミュニティ 定住人口・関係人口 地域防災 公共交通の利便性の向上と利用促進	
テーマ3 産学官民の協働で、元気な産業・環境のまちづくり	12
産学官民の協働 観光の振興 環境保全	
テーマ4 安心子育てと豊かな教育、人材育成のまちづくり	14
子育て支援の充実 学校教育の充実 地域社会・企業との連携	
テーマ5 市民目線と、不断の行財政改革推進のまちづくり	16
その他の主要事業	16
自然環境 生活基盤・都市基盤 産業 保健・福祉 教育・文化 市民協働・コミュニティ	
特別会計・公営企業会計 決算概要	20
ダイヤルガイド	23
宮若市市民憲章・宮若市歌「輝くふるさと」	24

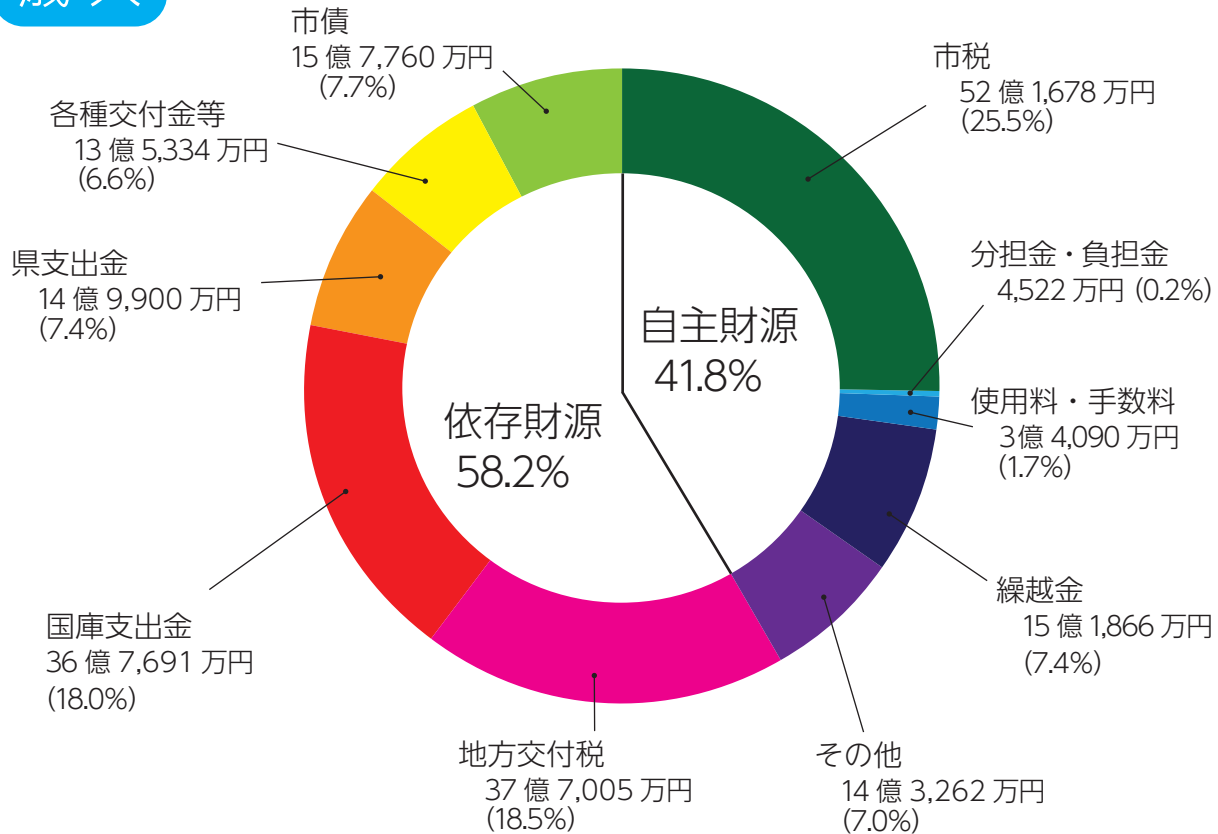
令和7年度 宮若市一般会計決算

歳入 204億3,108万円

歳出 200億1,944万円

差引 4億1,164万円

歳入



歳入決算のポイント



- 「市税」は、自動車関連企業の設備投資に伴い、法人市民税が減少しています。
- 「地方交付税」は、前年度の法人市民税増加の影響により減少しています。
- 「市債」は、令和7年8月豪雨に伴う災害復旧事業や旧宮田東小学校施設の解体事業などにより増加しています。

▶歳入項目

自主財源

市が自主的に調達できる収入であり、多いほど財政が安定し、市独自の事業をより多く行うことができます。

(項目)

市税(個人市民税、法人市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、入湯税)、
分担金・負担金、使用料・手数料、繰越金、
その他として基金(貯金)からの繰入金や寄附金など

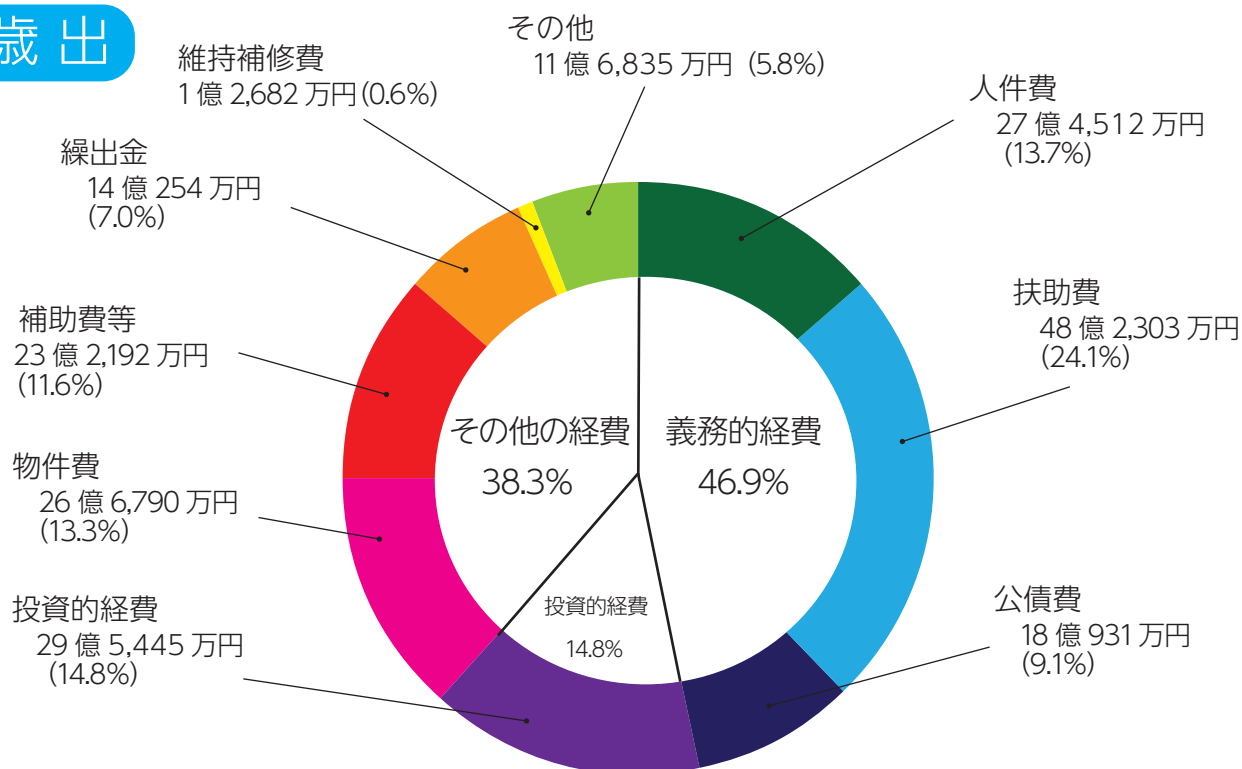
依存財源

国や県から交付されたり、割り当てられたりする収入です。

(項目)

地方交付税、国庫支出金、県支出金、交付金、市債

歳出



歳出決算の ポイント



- 「扶助費」は、定額減税補足給付金や低所得世帯支援給付金が減少しています。
- 「補助費等」は、物価高騰対応応援給付金や一部事務組合への負担金が増加しています。
- 「投資的経費」は、令和7年8月豪雨に伴う災害復旧事業や旧宮田東小学校施設の解体事業などにより増加しています。

▶歳出項目

義務的経費

支出が義務づけられていて任意に削減できない経費です。

(項目)

人件費、扶助費、公債費

投資的経費

道路や小中学校などの整備費や改修費、災害により被災した施設の復旧費など、社会資本の整備に関する経費です。

その他の経費

義務的経費及び投資的経費以外の経費です。

(項目)

物件費、補助費等、繰出金、維持補修費、その他として基金(貯金)への積立金など

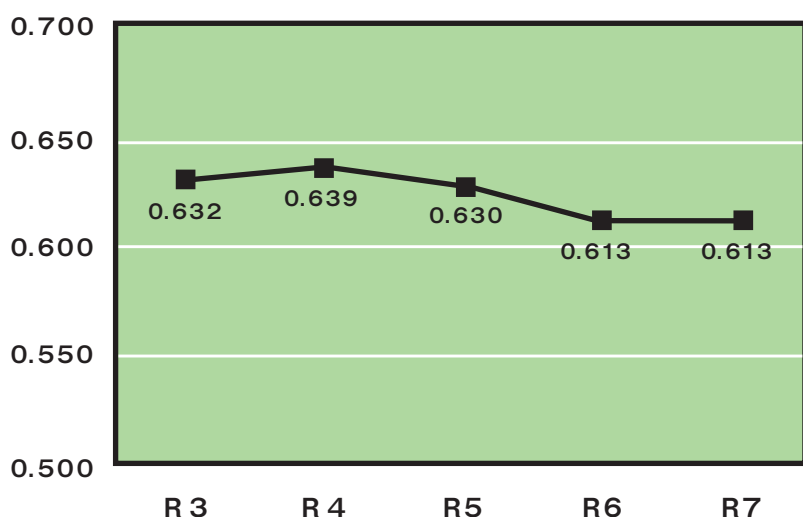
▶歳出の目的別内訳

議会費(市議会の運営) 1億4,478万円	総務費(市の全般的な仕事) 38億1,692万円	民生費(社会福祉や児童福祉) 70億8,877万円
衛生費(保健衛生や環境保全) 13億7,857万円	農林水産業費(農林業の振興) 7億4,732万円	商工費(商工業や観光の振興) 3億9,102万円
土木費(道路や橋などの整備) 15億1,435万円	消防費(防災・消防など) 5億4,617万円	教育費(学校教育や社会教育) 18億2,285万円
災害復旧費(災害の復旧) 7億5,938万円	公債費(借り入れたお金の返済) 18億931万円	

グラフで見る財政状況

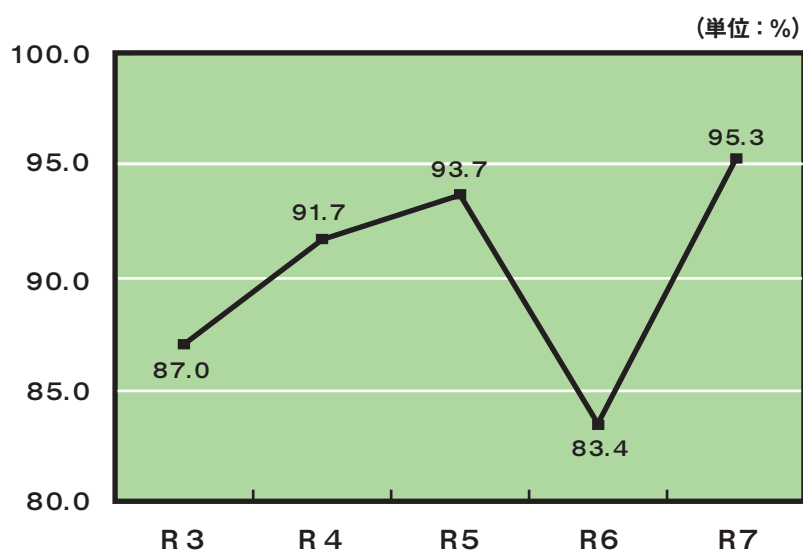
宮若市の財政指標をグラフで見てください。経年変化を追うことで市の財政が好転しているのか悪化しているのかを捉えることができます。

財政力指数



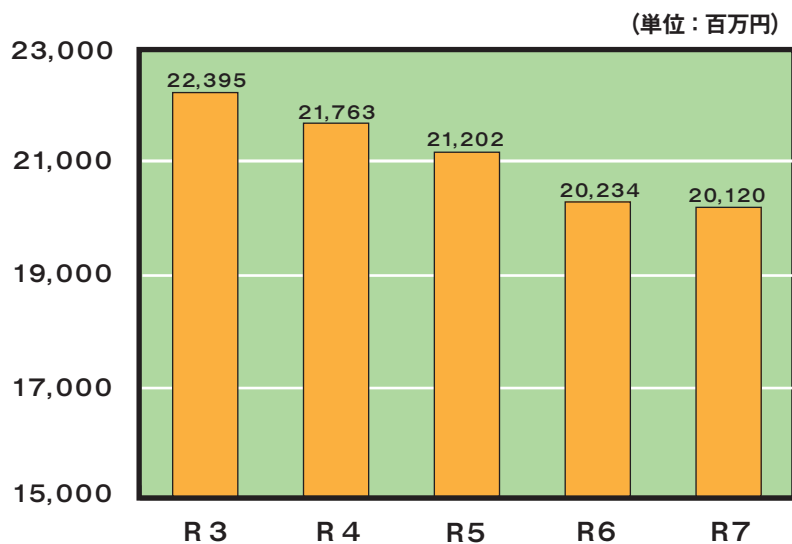
財政力指数は財政の自立性を測るもので、「1」に近づくほど財源に余裕があるといえます。令和7年度は、前年度と同水準を維持することができました。

経常収支比率



経常収支比率は、財政構造の弾力性を表すもので、安定して収入される財源に占める固定的に支出される経費の割合です。数値が低いほど柔軟な財政運営ができるといえます。法人市民税や普通交付税などの収入が減少したため、高くなりました。

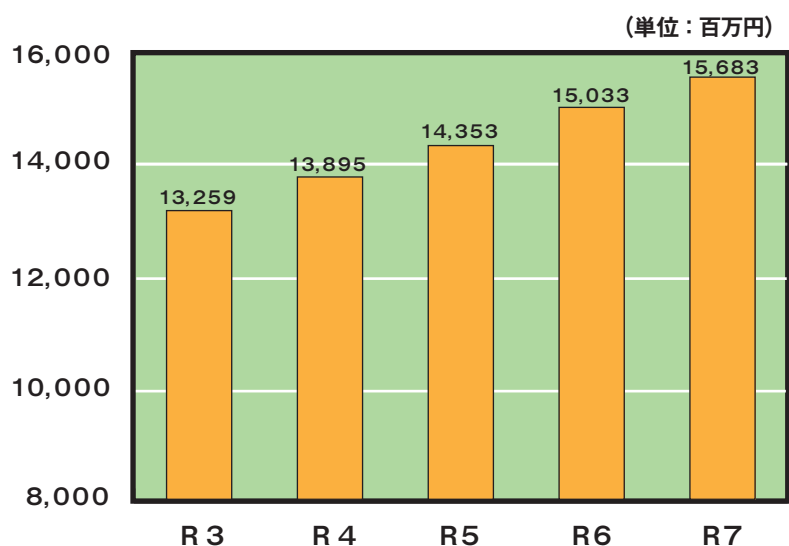
市債残高



市債とは市の借入金のことです。長年にわたって使用する公共施設については、将来その施設を使う人にも平等に負担してもらう目的もあります。

新たな借入額より返済額が上回ったため、減少しました。

基金残高



基金とは、市の貯金のことです。

経済情勢の著しい変動などによる収支の悪化に備えるための財政調整基金やその他特定の事業を行う目的で積み立てを行っている基金などがあります。

施設整備等基金などへの積み立てにより増加しています。

令和7年度に取り組んだ2つの重要施策について、新規及び拡充事業の概要をご紹介します。

子育て世代への支援

子ども医療対策費等拡充事業（市民課）

6,485万円

これまでの中学生までを対象とした子ども医療費の助成に加え、令和7年10月より、入院費用の無償化及び支給対象の拡充を行い、子育て世帯にかかる経済的負担の軽減を図るとともに、子育て世帯の市内への定住化を推進しました。

対象者	区分	拡充前の自己負担額	拡充後の自己負担額
未就学児	入院	無料	無料
	通院	無料	無料
小学生～中学生	入院	500円／日（7日間上限）	無料
	通院	1,200円／月	1,200円／月
高校生	入院	対象外	無料
	通院	対象外	1,200円／月

学校給食費無償化事業（学校教育課）

1億1,364万円

物価高騰などの影響による子育て世帯への経済的な負担を軽減するために、宮若市立の小中学校及び幼稚園に在籍する児童生徒・園児に係る給食の無償化を引き続き実施しました。



こども食堂支援事業補助金（こども家庭課）

31万円



新たな子どもの居場所として注目されている市内のこども食堂に対し、運営経費の一部を補助することにより、子ども達が健全で安心して過ごせる環境を充実させ、支援が必要な子どもの早期発見・早期対応につながる仕組みをつくり、子どもに対する地域の支援体制を強化しました。



保育所などにおける 性被害防止対策事業（こども家庭課）

15万円

子どもが安心して過ごすことができるよう、市内の保育所などにおいて、性被害防止対策のための防犯カメラの購入費用に対して補助金を交付しました。

不登校児童支援員配置事業（学校教育課）

30万円

不登校児童が増加している現状を踏まえ、特に支援を必要とする小学校に教職員OBである不登校児童支援員を配置し、校内支援センターにおいて児童一人一人に合った学習支援や相談支援を行いました。そして、家庭や学校と連携を図り、不登校支援の強化を行いました。



定住促進と消費活性化

定住促進事業の充実（まちづくり推進課）



6,076万円

- 住宅取得補助金（令和7年1月よりスタート） 5,513万円
本市に永住を目的に住宅を取得することで、最大300万円の補助を行いました。また、本制度についてPRに努めました。

- 新婚世帯・子育て世帯新生活支援事業 563万円
令和7年度まで実施していました新婚・子育て世帯家賃補助制度について、補助対象経費などの整理・拡充を行い、新たな制度に移行しました。



地域振興券発行事業補助金の拡充（産業観光課）

4,253万円

宮若商工会議所と若宮商工会が共同で実施する宮若市振興券の発行について、個人の消費を喚起し、地域経済の活性化に向けて取り組みました。

物価高騰対応応援給付金事業（総務課）



2億5,738万円

物価高騰による家計の負担を軽減するため、市内に住む全ての市民に対して一人あたり1万円の給付金を支給しました。

新規事業所開設支援補助金の拡充（産業観光課）

243万円

宮若市創業支援事業計画に基づいた新規事業所の開設に対する補助金の上限を50万円から100万円と増額し、宮若市内での創業を一層促進し、地域経済の活性化と雇用の創出を図りました。

新たな観光資源の創出（産業観光課）

857万円

来訪客の滞在時間や宿泊日数を延ばし、観光消費の拡大につなげていくため、テーマ性を持たせた体験型の新たな観光資源の創出に取り組みました。

- サイクルツーリズム補助金 102万円
貸出自転車やサイクルスタンド、フロアポンプ、自転車用工具などの設置に要した経費を補助しました。

- トレイルツーリズム推進事業 440万円
登山者をターゲットとする施策の成果を最大化するため、行動ビックデータ分析や登山者アンケートにより地域資源の現状把握を行い、コンテンツ制作やSNSによる情報発信など、最適なプロモーションを実施しました。

- 旅行支援事業 315万円
来訪者に対する宿泊補助と買物やレンタサイクルなどに利用できるクーポンを発行することで、市の認知度向上、リピーター客の獲得や特産品の販売増加に繋がりました。
また、今後の観光・物産振興施策に活用するため、利用者アンケート調査を実施しました。

「第2次宮若市総合計画後期基本計画」に掲げる5つの重点的な取り組みテーマを中心として、主な決算と事業内容についてご紹介します。

テーマ1 スポーツ、芸術・文化、健康長寿のまちづくり

健康長寿で誰もがスポーツや文化活動を楽しみ、地域の歴史・伝統を誇りに思う心身ともに豊かな生活・賑わいのあるまちづくりに取り組みました。

スポーツ

- **スポーツの普及啓発と交流機会の拡大**（社会教育課） **976万円**
スポーツ関係団体と連携し、スポーツフェスタを開催するなど、幅広いスポーツの普及に努めるとともに、各種スポーツ団体の活動を支援しました。また、光陵グリーンパークなどを活用したスポーツ大会やキャンプ地の誘致に取り組みました。

- **光陵グリーンパークの整備とスコアボード改修事業**（社会教育課） **2億380万円**



光陵グリーンパークについて、市民が安全で快適に利用できるよう、施設の適切な維持管理や整備、管理運営を行いました。また、不具合が生じているスコアボードの改修工事を行いました。



芸術・文化

- **社会教育施設空調整備事業**（社会教育課） **7,724万円**
空調に不具合が生じている文化センターにおいて、設備の更新を行いました。また、多目的会館、生涯学習センターにおいて、設計業務委託を行い、来訪者が快適に過ごすことができる環境を整備しました。



- **文化・芸術団体等との連携・支援**（社会教育課） **177万円**

芸術文化に研鑽を積んだ市民が成果を発表する機会として定着している宮若市文化祭を開催し、芸術文化活動の活性化や地域の絆を深める取組を推進しました。また、地域住民のためのコンサートやリコリスエントランスコンサートを継続して開催することで、優れた芸術を身近に感じ、気軽に親しむことができる地域の醸成に努めました。



■ 文化財への理解向上（社会教育課）

60万円

市の代表的な文化財である国指定史跡竹原古墳を中心に、宮若トレッジや石炭記念館と連携しながら文化財イベントなどを開催し、文化財普及事業に取り組みました。



健康長寿

■ 特定健診受診率上昇に向けた取組（健康福祉課）

2,526万円

特定健診において、受診率の向上に努め、結果説明会や個別訪問指導の実施により、生活習慣病の重症化予防に取り組み、医療費の抑制を図りました。



NEW

■ 带状疱疹発症予防に対する取組（健康福祉課）

880万円

加齢や免疫機能の低下に伴い、80歳までにおよそ3人に1人が発症するといわれている带状疱疹について、令和7年4月より定期接種化されたことに伴い、福岡県医師会及び直方鞍手医師会と連携し、原則65歳を対象に带状疱疹予防接種を行いました。

■ みやわか健康ポイント事業の充実（健康福祉課）

210万円

自主的な健康づくりを支援するため、健康づくりに関する事業の参加者へポイントを付与し、ポイント数に応じて応募者全員に記念品を贈呈しました。

NEW

■ 高齢者補聴器購入費助成金（健康福祉課）

6万円

障害者総合支援法による補装具支給対象者に該当しない難聴高齢者に対し、補聴器購入費用の一部を助成することで、高齢者の聴力低下へ早期に対応し、積極的な社会参加を支援しました。



テーマ 2 個性的で活力に満ちた、コミュニティのまちづくり

少子高齢化が進む中、地域の担い手不足や自治会加入率の減少などにより、地域コミュニティの基盤が脆弱になってきています。

それぞれの地域の個性を活かして課題を解決し、誰もが安心・安全な生活を送ることができるコミュニティ(地域共生社会)づくりに取り組みました。

個性に満ちたコミュニティ

■ 自治会活動推進実証事業補助金 (まちづくり推進課)



434万円

自治会活動の維持及び活性化を図るため、活動継続のための取り組みや地域をつなぐための取り組みに対して助成を行う事業を令和7年度から3ヵ年実施しています。

■ ブロック協議会の運営支援 (まちづくり推進課)

114万円

協働のまちづくりを推進するため、職員と地域の協力による職員地域担当制度を通して、様々なイベントを実施することで、地域活性化を図りました。

■ コミュニティ活動の支援 (まちづくり推進課)

40万円

コミュニティ組織などが自主的に行うコミュニティ活動(文化・体育活動、住環境の保全対策活動など)に対して助成を行いました。



■ 吉川コミュニティセンターの整備 (社会教育課)

1,416万円

吉川コミュニティセンターの整備に向け、各種設計や調査を行いました。

定住人口・関係人口

■ ふるさと PR 大使活用事業 (秘書政策課)



60万円

令和元年度より設置しているふるさと PR 大使を、市の事業に起用することによって、本市の魅力を広く市内外に紹介し、知名度の向上及びイメージアップを図りました。



■ シティプロモーション動画による魅力発信（秘書政策課）



442万円

豊かな自然や文化、産業など宮若市を象徴する場所でふるさとPR大使や多くの市民とともに市の魅力を表現する動画を作成し、本市の魅力を広域的に発信しました。本事業を通してシビックプライドの醸成及び市の認知度向上や交流人口・関係人口の増加を図りました。



地域防災

■ 消防自動車購入（総務課）



3,032万円

地域防災の要である消防団について団員の加入を促進するとともに、第2分団の消防車両を更新し、設備の充実を図りました。

■ 防災意識の醸成と防災体制の強化（総務課）

473万円

自助・共助・公助の理念に基づいた地域防災力の向上に向け、自主防災組織の設立・育成に取り組みました。また、防災行政無線をはじめとした、多様な情報伝達手段を有効に活用し、迅速で的確な情報伝達に努めました。

■ 鶴田地区内水対策事業の推進（土木建設課）

3,100万円

近年の降雨災害の頻発化・激甚化により、大雨時に甚大な内水浸水被害が発生している鶴田地区の内水対策を進め、災害の発生予防・拡大予防に努めました。

公共交通の利便性の向上と利用促進

■ A I デマンドタクシーと公共交通の確保（産業観光課）



1億1,438万円

利用者のニーズに合わせた時間とルートで柔軟な運行が可能な予約制のAIシステムを活用したデマンド型区域運行方式を用いるとともに、令和7年4月より宗像市と共同運行で「宮若・宗像線」の運行を開始し、市民のニーズに合った適切な路線バスの運行に努めました。



テーマ3 産学官民の協働で、元気な産業・環境のまちづくり

経済は市民の暮らしや市政の基盤です。産業界（民間企業）、学校（教育・研究機関）、官公庁（国・地方自治体）、民間（地域住民・NPO）の四者の連携・協働による元気な産業・環境のまちづくりに取り組みました。

産学官民の協働

■ 中小企業者への経営支援、新規創業に対する支援（産業観光課） 888万円

宮若商工会議所と若宮商工会を通じて、中小企業のDX化の推進や補助事業の活用、研修会の情報提供など経営支援及び新規創業者の育成に取り組みました。



■ 買物困窮者に対する移動販売支援（産業観光課） 58万円

商工団体や民間事業者などと連携して、商店街の活性化や買物の利便性の向上に向け、地域住民や事業者と協議し、移動販売の箇所の選定や商品の充実を図るとともに、利用者のニーズに沿った買物対策について支援を進めました。

■ 宮若うまい米コンクールの実施（農政課） 100万円

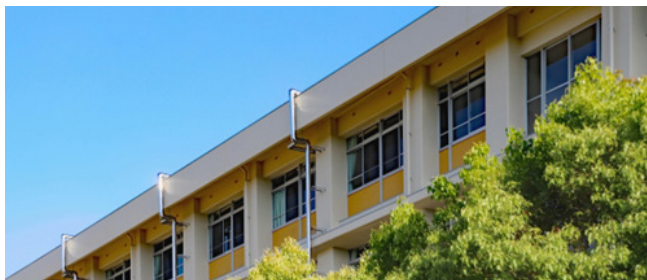
宮若うまい米コンクールを引き続き実施するとともに、宮若オリジナル米袋を活用することで、宮若産米の効率的なPRやブランド化の推進に努めました。

■ 企業誘致の推進（まちづくり推進課） 446万円

福岡県と連携し、宮若北部工業用地造成事業の早期着手に向けて用地補償交渉に取り組みました。また、東京で開催される福岡県企業立地セミナーに参加し、本市の産業集積の状況などについてPRを行いました。

■ 学校跡地の利用活用事業（秘書政策課、まちづくり推進課） 4億1,129万円

定住促進や地域活性化に資する有効な跡地利活用に向けて、宮田東小学校等跡地は建物の解体を行い、若宮小学校跡地は施設内の一部建物の解体や敷地内に整備予定の公園などの設計業務を進めました。



観光の振興

■ 新たな観光資源の創出※再掲



(産業観光課) 857万円

来訪客の滞在時間や宿泊日数を延ばし、観光消費の拡大につなげていくため、サイクルツーリズム推進事業やトレイルツーリズム推進事業など、体験型の新たな観光資源の創出を行いました。また、市内観光施設や宿泊施設を利用する観光客に向けた旅行支援事業を行うことで、更なる観光振興に努めました。



環境保全

■ 脱炭素推進補助金 (環境保全課)

2,643万円

温室効果ガスの排出削減のため、火葬場「桜華苑」と、し尿処理施設「緑水園」を対象に、第三者所有方式（P P A）による太陽光発電設備の導入に取り組みました。



■ 宮若市地球温暖化対策実行計画

(区域施策編) 策定への取組 (環境保全課)

246万円

宮若市全体の温室効果ガスの排出量削減を推進するための総合的な計画として、「宮若市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定（令和7年度から令和8年度にかけて策定）に取り組みました。

■ 資源物拠点回収事業の実施 (環境保全課)

791万円

ごみの減量化・リサイクルを推進するため、第2・第4日曜日に市内2カ所（市役所本庁舎及び若宮総合支所の駐車場）で資源物拠点回収事業を実施しました。



■ リサイクル活動の推進 (環境保全課)

191万円

ごみとして処理されている古紙などを再資源化して有効活用するため、資源回収活動団体の助成を行いました。



テーマ 4 安心子育てと豊かな教育、人材育成のまちづくり

「宮若の子どもは宮若で責任を持って育てる」の精神の基、社会全体で子育てを支援する環境の整備に努めるとともに、教育の充実を図り、心身共に社会人として逞しく生きる人材を育てる環境の整備に取り組みました。

子育て支援の充実

■ 宮若市こども計画の策定、周知（こども家庭課）

66万円

子どもに関する施策を総合的に推進するための「宮若市こども計画」について、前年度に実施したアンケート調査の結果などに基づき、関係部署との連携の下、策定しました。また、計画書の概要版は全戸へ配布し、子育て支援に直接関わるサービスなど、重要な箇所を読んでもらえるよう工夫を行いました。



■ 妊婦支援給付金支給及び伴走型相談支援事業（こども家庭課）

1,206万円

全ての妊婦や子育て世帯が安心して、出産・子育てができるよう、妊娠期から妊産婦に寄り添い、出産・育児などの見通しを立てるための面談や継続的な情報発信を行うとともに、必要な支援につなぐ伴走型相談支援と、妊婦のための支援給付による経済的支援を行いました。

■ 子育て支援センターの充実（こども家庭課）

7,514万円

子育て支援センターが地域の子育て支援の拠点として、子育ての負担軽減が図れるよう、一時預かり事業や子育て相談、親子の交流の場となる活動を行いました。

■ 保育サービスの実施（こども家庭課）

7億7,966万円

認可保育施設での通常保育を実施するほか、延長保育や幼稚園における預かり保育など、保護者のニーズに沿った保育サービスの提供に向けた支援を行いました。

■ 学童保育所の運営（こども家庭課）

1億1,585万円

社会福祉協議会と連携し、市内4か所の学童保育所の安定的な運営に努めました。

■ 児童手当制度の拡充（こども家庭課）

5億8,880万円

令和6年10月より支給対象や支給額など大幅に拡充された児童手当について、次代を担う児童の健全な育成に資するため、引き続き支援を行いました。

- **保育所等給食支援補助金事業**（こども家庭課） **706万円**
 福岡県の物価高騰対策として、認可保育所が利用者から徴収する給食費の17%（物価高騰率）を基本額に12カ月分を保育事業所に交付することで、利用者が負担する給食費の増加を抑制しました。
- **物価高騰対応子育て応援手当事業**（こども家庭課）  **6,936万円**
 物価高騰の影響を強く受けている子育て世帯を支援するため、こども一人あたり2万円を給付しました。

学校教育の充実

- **宮若西中学校武道場空調整備事業**（学校教育課）  **6,539万円**
 児童生徒の熱中症対策と避難所機能の充実を目的として、宮若西中学校武道場の空調設備設置工事を実施しました。
- **GIGA スクール運営支援センター事業**（学校教育課）  **1,581万円**
 GIGA スクール運営支援センターを整備し、児童生徒用端末の一斉更新時における端末設定や管理を行い、教員がスムーズかつ効率的に活用するためのソフト運営管理など、ICT 端末の包括的な支援体制を図り、デジタル教育の強化を図りました。

地域社会・企業との連携

- **放課後学習の充実**（学校教育課） **866万円**
 放課後学習「みやわかアフター・スクール」を全小中学校で実施しました。また、民間の学習塾の学習指導を受けることができる「MUSUBUスクールみやわか」を実施し、子ども達の学習支援を行いました。
- **部活動の地域展開に向けた取組**（学校教育課、社会教育課） **26万円**
 地域の実態に応じた中学部活動の地域展開や地域との連携を進めるため、学識経験者や体育協会、文化連盟、学校及び行政などの関係者による協議会を開催し、地域展開の方針や地域指導者の確保について協議を行いました。今後も地域においてスポーツや文化芸術に継続して親しむことができる環境づくりを推進するため、継続的に協議を進めていきます。
- **将来を担う人材の育成**（秘書政策課） **87万円**
 直轄地域2市2町での広域事業として、中高生を対象としたプログラミング教室や、宮若市・宗像市・トヨタ自動車九州株式会社との3者による小学生を対象としたものづくり体験事業など多様な機会を創出し、将来を担う人材の育成に努めました。

テーマ5 市民目線と、不断の行財政改革推進のまちづくり

少子高齢化の進展による税収の減少や社会保障関連経費の増大が見込まれる中、行財政改革を不断に行い、最小の経費で、最大の効果を上げる行政運営に努め、将来にわたり持続可能な行財政基盤の構築に取り組みました。

■ 市制施行20周年記念事業（秘書政策課・各課）



2,066万円

令和8年2月11日に市制施行20周年を迎えたことから、この節目の年を市民とともに祝い、ふるさとへの愛着を深め、さらなるまちの飛躍に繋がる事業を実施しました。

※主な事業の抜粋

■ 劇団宮若レインボーカンパニー記念公演（秘書政策課）

合併をきっかけに誕生した市民劇団宮若レインボーカンパニーによる、20周年記念ミュージカルの公演を行いました。

■ 市制施行20周年記念式典（秘書政策課）

令和8年2月11日に、市民表彰と併せて市の誕生を祝う式典を開催しました。

■ 記念ナンバープレート作成（税務収納課）

20周年記念デザインの原動機付自転車（50cc）のナンバープレートを200枚限定で発行しました。

■ ふるさと祭（産業観光課）

毎年開催するふるさと祭を、20周年記念事業として盛大に開催しました。



その他の主要事業

自然環境

■ 不法投棄防止対策の推進（環境保全課）

168万円

監視カメラ・看板の設置などによる不法投棄防止や自治会などによる地域の環境美化活動を支援しました。

■ 空家等対策の推進（建築都市課）

188万円

空家化の予防や適切な管理などの啓発に努めるとともに、老朽化し危険性の高い空家の解体撤去費用を補助するなど、空家等対策を進めました。

■ 上水道の安定供給（水道課）

6,265万円

老朽化に伴う配水管の更新や浄水場施設の整備を継続的に進め、良質な水の安定供給に努めました。

■ 下水道などの整備（下水道課）

4億7,945万円

福岡県が事業主体となる遠賀川中流域下水道事業の進捗状況に併せて、事業認可区域内の幹線管きょや末端管きょなどの整備促進を図りました。

■ 合併浄化槽整備事業（下水道課） 1,779万円

汚水処理施設構想に基づき、公共下水道整備区域以外での浄化槽の設置を推進しました。

生活基盤・都市基盤

■ 国土調査の実施（土地対策課） 1億1,828万円

個人の権利や財産を尊重し、国土の開発、保全、利用の円滑化を図るため、令和7年度は、龍徳・山口地区の各一部の地籍簿、地籍図の作成と龍徳・山口地区の各一部の一筆地調査、測量調査を行いました。

■ 市営住宅等の保安全管理（建築都市課） 2,095万円

市営住宅長寿命化計画に基づき、管理戸数の適正化を図るため、老朽化の著しい空家となった市営住宅の解体工事を実施しました。



■ 防草対策事業（土木建設課）



1,000万円

人口減少や高齢化により、地域で除草対策が困難になりつつある中、防草対策を行うことで、継続的に発生する除草の抑制を行うとともに、地域環境の改善を図りました。

■ 幹線道路の整備（土木建設課） 2億8,251万円

舗装改修や歩道などの整備を計画的に進めるとともに、県などの関係機関と連携して道路整備を進め、交通の利便性や安全性、アクセスの向上に努めました。

■ 生活道路の整備（土木建設課） 1億8,900万円

日常生活で利用する生活道路の維持に努めるとともに、経年劣化した道路の舗装整備を行い長寿命化を図りました。

■ 市民と協働した道路環境の保全（土木建設課） 577万円

市民と行政の協働による良好な道路環境の保全推進を目的とした道路愛護推進活動について、積極的に周知を行うことで活動団体の増加に努めました。

■ 協働による公園の管理・活用の推進（まちづくり推進課、土木建設課） 1,685万円

犬鳴川河川公園や2000年公園、さくら堤公園は、市民団体や企業などとの協働による管理を行うとともに、イベントの開催などを通じて、市民の交流の場となる愛着ある公園づくりを推進しました。

■ 犯罪を防止する環境の整備（総務課） 162万円

自治会などによる防犯灯の新設や老朽化などによる取替えを支援し、犯罪を防止する環境整備に努めました。

■ 隣保館改修事業（保護人権課）



2,397万円

老朽化が進む竹原隣保館について、防水のための屋根改修工事を実施し、適切な施設整備を行いました。

産業

- 多面的機能支払交付金の交付（農政課）** **3,240万円**
農村地域の共同活動に支援を行うことで、農用地や水路、農道、ため池などの地域資源の適切な保全管理を推進しました。
- 有害鳥獣駆除補助金の拡充（農政課）** **990万円**
深刻化する農作物などへの鳥獣被害に対して、猟友会などと連携した駆除活動を強化するとともに、電気牧柵などの設置・補助を行い、被害防除に取り組みました。また、近年被害が拡大しているアライグマやアナグマ対策のため、捕獲に係る補助金額を増額して被害の拡大防止に努めました。
- 就農者の育成支援（農政課）** **6,384万円**
農業における生産コスト低減や生産規模の拡大に取り組む認定農業者・営農組織に対し、農業用機械などの導入支援や新規就農者の経営支援を行いました。
- 小規模農地などへの支援（土木建設課）** **30万円**
面積の狭小、湿田化など、耕作不利農地の条件改善のために農家が実施する対象事業の補助を行い、増加する耕作放棄地の発生防止に向けた取り組みを推進しました。

保健・福祉

- 社会福祉協議会の活動支援（保護人權課）** **6,130万円**
社会福祉協議会が実施している地域福祉推進事業、ボランティア活動推進事業、各種相談事業、高齢者・障がい者（児）支援事業など、各事業の拡充を支援しました。
- 民生委員・児童委員の活動支援（保護人權課）** **210万円**
市民の生活上の相談や高齢者・子どもの見守りなど、身近な地域福祉活動の中心的な役割を担う民生委員・児童委員の活動を積極的に支援しました。
- 相談体制の充実（保護人權課）** **2,357万円**
生活保護制度に精通した面接相談員を配置し、要保護者からの生活相談に対する指導・助言や生活保護の申請手続きなどの支援を行いました。また、生活困窮者相談支援体制については、生活困窮者への支援充実のため、自立相談支援・家計改善支援・就労準備支援の三事業の相談体制を整え、自立のための包括的な支援を継続して行いました。
- 住民税非課税世帯臨時特別給付金事業（保護人權課）** **1,637万円**
物価高騰の影響を受ける低所得世帯への支援として、住民税非課税世帯に対して、1世帯あたり3万円、そのうち子ども一人あたり2万円を加算して支給しました。
- 地域包括ケア体制の確立（健康福祉課）** **7,366万円**
高齢者が自分らしい暮らしを続けることができるよう、生活支援サービスの体制整備や在宅医療・介護連携など支援体制の強化を図りました。また、認知症に対する正しい知識と理解の普及のため、認知症予防教室や認知症サポート養成講座を実施しました。

■ 障がい福祉サービスの提供（健康福祉課）

15億140万円

障がいのある人が自立した生活が送れるよう、生活環境の整備や相談・支援体制の充実強化に努めるとともに、各種障がい福祉サービスの提供を行いました。

教育・文化

■ 地元農産物を活用した学校給食の提供（学校教育課）

391万円

宮若米や宮若牛など、新鮮で安全な地元農産物や畜産物を積極的に学校給食に導入することで、地産地消に取り組みました。

■ 読書活動の充実（社会教育課）

1,164万円

「第3次宮若市子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭や地域、学校、保育園などと連携し、おはなし会・ブックスタート・家読など図書館事業を充実し、子どもの読書活動の推進に努めました。



■ 体験学習の充実（社会教育課）

73万円

小中学生が異学年や他校の児童生徒とともに工作や調理、スポーツなどさまざまな活動を体験するわいわいサークルやサマーチャレンジ、スプリングチャレンジを開催しました。

市民協働・コミュニティ

■ 期日前投票移動支援補助金（総務課）

NEW

4万円

投票における有権者の利便性向上のため、期日前投票所への移動支援として、コミュニティバスやデマンドタクシーを利用した場合の運賃を補助しました。

■ 人権教育・啓発の促進（社会教育課、保護人権課）

244万円

人権講演会や地域懇談会、人権の花運動などを実施し、身近な差別に気づき、お互いの人権が尊重される地域づくりの推進に努めました。

計画と推進の実現のために

■ 人事評価システム導入（総務課）

NEW

297万円

市職員に対する人事評価システムを導入し、評価結果の分析の効率化や経年変化の一元管理を行うとともに、評価の公平性を確保し、職員の納得感につなげることで、個人のモチベーションアップを図り、人材育成の推進および組織力の向上を図りました。

■ 自治体情報システムの標準化・共通化（デジタル戦略課）

1億700万円

住民基本台帳や税・福祉などの主要20業務を管理するシステムを、国が定めた標準仕様書に準拠したシステムに移行することで業務の効率化や行政手続きの簡略化を図り、市民サービスの向上に繋がっています。

特別会計・公営企業会計 決算概要

国民健康保険特別会計

歳入総額	31億 783万円
歳出総額	29億 8,966万円
差引残額	1億 1,817万円

歳 入

区分	決算額
国民健康保険税	4億 5,041万円
使用料及び手数料	6万円
国庫支出金	81万円
県支出金	22億 6,133万円
繰入金	2億 6,238万円
繰越金	9,770万円
諸収入	3,514万円

歳 出

区分	決算額
総務費	5,814万円
保険給付費	20億 7,677万円
国民健康保険事業費納付金	6億 7,514万円
保健事業費	2,555万円
諸支出金	1億 5,406万円

後期高齢者医療特別会計

歳入総額	5億 8,536万円
歳出総額	5億 7,246万円
差引残額	1,290万円

歳 入

区分	決算額
後期高齢者医療保険料	4億 2,252万円
国庫支出金	129万円
繰入金	1億 4,961万円
繰越金	1,059万円
諸収入	135万円

歳 出

区分	決算額
総務費	583万円
後期高齢者医療広域連合納付金	5億 6,563万円
諸支出金	21万円
保健事業費	79万円

吉川財産区特別会計

歳入総額	106万円
歳出総額	84万円
差引残額	22万円

歳 入

区分	決算額
財産収入	8万円
繰入金	80万円
繰越金	18万円

歳 出

区分	決算額
総務費	61万円
財産費	23万円

水道事業会計

(1) 収益的収入及び支出

収 入 4億 7, 869万円

区分	決算額
給水収益	3億 9, 225万円
受託工事収益	455万円
その他の営業収益	27万円
負担金	1, 829万円
受取利子及び配当金	78万円
他会計補助金	59万円
水道加入金	238万円
長期前受金戻入	5, 846万円
雑収益	47万円
消費税還付金	46万円
特別利益	19万円

支 出 4億 8, 278万円

区分	決算額
原水及び浄水費	1億 4, 584万円
配水及び給水費	7, 036万円
受託工事費	475万円
総係費	4, 369万円
減価償却費	1億 8, 852万円
支払利息及び企業債取扱諸費	1, 565万円
消費税及び地方消費税	1, 284万円
特別損失	113万円

(2) 資本的収入及び支出

収 入 4, 945万円

区分	決算額
企業債	4, 880万円
負担金	65万円

支 出 2億 3, 545万円

区分	決算額
施設改良費	7, 376万円
固定資産購入費	1, 592万円
企業債償還金	1億 4, 577万円

簡易水道事業会計

(1) 収益的収入及び支出

収 入 1億 1, 225万円

区分	決算額
給水収益	5, 312万円
その他の営業収益	10万円
負担金	668万円
受取利子及び配当金	11万円
他会計補助金	1, 750万円
水道加入金	323万円
長期前受金戻入	3, 147万円
特別利益	4万円

支 出 1億 599万円

区分	決算額
原水及び浄水費	1, 386万円
配水及び給水費	175万円
総係費	3, 275万円
減価償却費	5, 171万円
支払利息及び企業債取扱諸費	209万円
消費税及び地方消費税	383万円
特別損失	10万円

(2) 資本的収入及び支出

収 入 5,168万円

区分	決算額
他会計補助金	2,600万円
負担金	2,568万円

支 出 7,027万円

区分	決算額
施設改良費	2,830万円
企業債償還金	4,197万円

下水道事業会計

(1) 収益的収入及び支出

収 入 4億5,953万円

区分	決算額
下水道使用料	6,959万円
雨水処理負担金	1,334万円
その他の営業収益	22万円
受取利子及び配当金	21万円
他会計負担金	1億3,241万円
他会計補助金	7,400万円
補助金	116万円
長期前受金戻入	1億4,706万円
消費税還付金	2,107万円
雑収益	16万円
特別利益	31万円

支 出 4億3,423万円

区分	決算額
管渠費	123万円
ポンプ場費	509万円
総係費	5,112万円
流域下水道維持管理負担金	9,361万円
減価償却費	2億3,260万円
固定資産除却費	3万円
支払利息及び企業債取扱諸費	4,922万円
雑支出	128万円
特別損失	5万円

(2) 資本的収入及び支出

収 入 5億1,472万円

区分	決算額
企業債	2億1,980万円
国庫補助金	1億6,239万円
負担金及び分担金	2,944万円
他会計負担金	2,785万円
他会計補助金	1,887万円
他会計出資金	5,637万円

支 出 6億5,714万円

区分	決算額
建設改良費	4億7,946万円
企業債償還金	1億7,768万円

宮若市役所 ダイヤルガイド

事業の内容の詳細などは、お気軽にこちらまでおたずね下さい。

本庁舎 TEL 0949-32-0510 (代) FAX 0949-32-9430

課 名	係 名	業務内容	電話番号
総 務 課	総務係	議案、条例・規則等の制定改廃、文書管理、情報公開、個人情報保護、選挙管理委員会など	32-0511
	人事係	職員の人事、給与、研修、福利厚生、衛生管理、安全管理、組織管理など	
	防災安全係	消防、防災、防犯、交通安全など	
デジタル戦略課	情報政策係	情報システムの管理運用、情報セキュリティ対策、ICTの利活用など	32-1072
管 財 課	財産管理係	市有財産管理、庁舎管理など	32-0761
	契約検査係	契約、請負業者の指名・入札など	
市 民 課	市民係	転入転出等、住民票、戸籍、印鑑登録など	32-0514
	国保年金係	国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療、公費医療など	32-4004
税 務 収 納 課	市民税係	市県民税、国民健康保険税、軽自動車税の賦課など	32-0513
	資産税係	土地・家屋・償却資産の評価、固定資産税の賦課など	
	納税管理係	市税・国民健康保険税の徴収・滞納対策、市税等諸証明の交付など	
秘 書 政 策 課	秘書広報係	秘書、広報、シティプロモーション、ホームページ、表彰など	32-0512
	政策推進係	総合計画、総合戦略、広域行政、人材育成、国際交流など	
財 政 課	財政係	予算編成、執行管理、財政計画、行財政改革、地方交付税、市債など	32-0590
まちづくり推進課	地域振興係	定住促進、自治会、犬鳴川河川公園・2000年公園管理など	32-0773
	企業誘致推進係	企業誘致など	
こども家庭課	子育て支援係	児童手当、児童扶養手当、家庭児童相談など	32-0517
	保育係	保育所、学童保育など	32-0517
	母子保健係	予防接種（児童）、母子健康手帳交付など	32-1327
健 康 福 祉 課	健康対策係	健康づくり、各種保健事業、予防接種、精神保健など	32-1177
	障がい者福祉係	障がい者（児）福祉など	32-0541
	高齢者福祉係	高齢者福祉、介護保険、高齢化対策など	32-0515
	地域包括支援センター	介護予防ケアマネジメント、高齢者の総合相談支援など	33-3456
保 護 人 権 課	事務係	生活保護に関する事務など	32-9377
	保護係	生活保護に関することなど	
	人権福祉係	人権・同和対策、男女共同参画、隣保館など	
	地域福祉係	民生・児童委員、社会福祉協議会、地域福祉計画、戦傷病者遺族等援護など	
環 境 保 全 課	環境衛生係	じん芥施設、衛生施設に関すること、犬の登録など	32-0516
	環境対策係	環境基本計画、火葬場、不法投棄対策、脱炭素社会など	
産 業 観 光 課	商工振興係	商工業の振興、消費生活、雇用促進など	32-0519
	観光推進係	観光振興、ふるさと納税、特産品開発促進など	
	公共交通対策係	公共交通など	
農 政 課	農林対策係	林業経営の改善、林業生産の基盤整備、有害鳥獣駆除、荒廃森林対策など	32-0518
	農業振興係	農業経営の改善、地域農政推進、認定農業者、農業共済など	
土 地 対 策 課	用地係	用地取得、登記、市道の認定、道路台帳、占用使用許可、屋外広告物など	32-0569
	国県道整備対策係	県道の整備に関することなど	32-0566
	国土調査係	地籍測量、地籍図作成、地籍簿作成など	
建 築 都 市 課	建築係	建築物の出願処理など	32-0955
	都市計画係	都市計画、建築協定、緑化対策、空き家対策など	
	住宅管理係	市営住宅の入退去、市営住宅の維持管理、住宅改修助成など	
土 木 建 設 課	維持係	道路、河川、下排水維持管理、土木災害復旧、交通安全施設など	32-0799
	建設係	土木施設の新設改良工事など	
	農業土木係	農業用施設等の維持管理、土地改良、災害復旧、林地崩壊防止事業など	
下 水 道 課	下水道係	下水道工事施工管理、設計、事業計画など	32-3159
	管理係	下水道資産管理、使用料、浄化槽設置助成など	
会 計 課	会計係	各種料金の支払い窓口、公金経理、資金管理など	32-3323
水 道 課	業務係	水道料金に関することなど	32-1005
	給水係	水道の給水など	
	浄水係	浄水場の維持管理など	
学 校 教 育 課	教育総務係	幼稚園・小中学校の維持管理、スクールバスの運行、教育財産の管理など	32-1007
	学校教育係	児童・生徒就学、奨学金、通学区域、学級編制、教育支援センターなど	32-1007
	学校給食係	学校給食、学校給食施設の維持管理など	34-5525
社 会 教 育 課	公民館・スポーツ振興係	公民館・スポーツ施設の管理運営、社会体育、学校体育施設開放など	32-0123
	社会教育・文化推進係	図書館、青少年の健全育成、生涯学習、文化財、文化振興、人権教育・啓発など	32-3210
議 会 事 務 局	議会係	市議会に関することなど	32-1135
農 業 委 員 会	農業委員会事務局	農地等の利用関係、農地法、農業者年金など	32-3553
監 査 事 務 局	監査事務局	監査委員・公平委員会に関することなど	32-1004

若宮総合支所 TEL 0949-52-1111 (代) FAX 0949-52-3119

課 名	係 名	業務内容	電話番号
市 民 窓 口 課	市民窓口係	転入転出、住民票、戸籍、税の収納証明、国民健康保険、国民年金、児童・母子福祉、ごみ、し尿など	52-1111

宮若市民憲章

制定年月日
H 20.2.22

私たちの宮若市は、緑輝く自然や誇りある歴史と伝統を先人より受け継いできたまちです。

このまちを愛する私たちは、将来の夢や希望を実現できる「輝くふるさと」を目指し、ここに市民憲章を定めます。

一 みどり豊かな自然を愛し、美しいまちをつくりまします。

一 歴史と伝統に学び、文化の薫り高いまちをめざします。

一 互いに助けあい、やすらぎのあるまちをめざします。

一 活力に満ちた産業を育み、働きやすいまちをつくりまします。

一 ふるさとを愛し、誇れるまちをつくりまします。

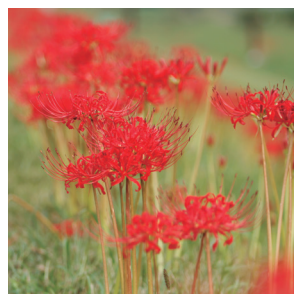
市章



「み」の文字をモチーフに、市民が明るく輝き、飛躍している様子を表しています。

制定年月日 H 18.2.11

市の花



彼岸花

どんな天候でも花を咲かせ、堅実な歩みを目指す宮若市を表しています。

制定年月日 H 20.2.22

市の木



桜

河川敷や公園などに植えられ、市民の皆さんに親しまれています。

制定年月日 H 20.2.22

宮若市歌「輝くふるさと」

制定年月日
H 25.2.11

安らげる人がいる 癒される緑がある
そして輝く 歴史がある
宮若市温かいふるさと
宮若市輝くふるさと
さあここへお出でよ
共に輝く未来を築こうよ
輝くふるさとを築こうよ

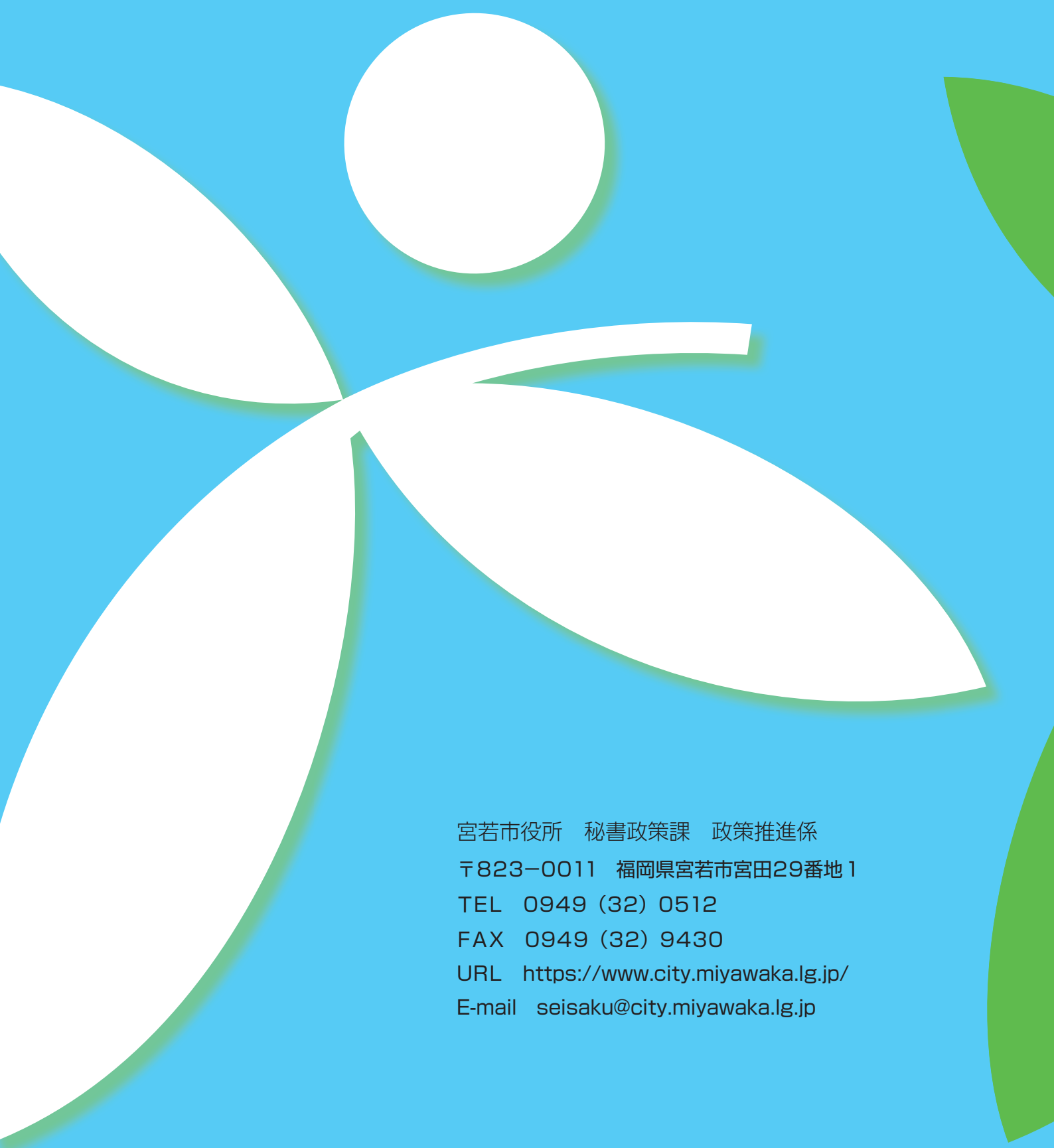
風が優しさを連れてくる
水が命を授けてくれる
人は思いやりに溢れ 街は喜びに包まれる
そんな街だよ 大好きな街だよ
君と一緒に見つめたい 歴史と夢と未来を

安らげる人がいる 癒される緑がある
そして輝く 歴史がある
宮若市温かいふるさと
宮若市輝くふるさと
さあここへお出でよ
共に輝く未来を築こうよ
輝くふるさとを築こうよ

\\ /
Memo



A series of horizontal dotted lines for writing, starting from the first line below the 'Memo' header and continuing down the page.



宮若市役所 秘書政策課 政策推進係
〒823-0011 福岡県宮若市宮田29番地1
TEL 0949 (32) 0512
FAX 0949 (32) 9430
URL <https://www.city.miyawaka.lg.jp/>
E-mail seisaku@city.miyawaka.lg.jp